

- この製品は耳きりしてありますので、開封後は汚れた床面に置かないでください。
- 三巾ぐらい施工後、問題のないことを確かめて作業にかかってください。
(明らかに商品に欠陥が見られる場合は、当社までご連絡をお願いいたします。)
- オープンタイム 5分～15分 (付けだめ禁止)
- **ローラーは使用しないでください。(刷毛で全面を押さえてください。)**
ジョイント部は、指で押さえて固着させてください。

1 下地処理

- ・下地は、下地と同色の仕上げパテを使用し、平滑に仕上げてください。
- ・湿式下地（コンクリート・モルタル等）や、パテ・シーラーを施した場所では、十分に乾燥している事を確認してから施工を開始してください。湿気を帯びていると壁紙の変色、カビ、フクレの発生を招く事があります。
- ・下地が、コンクリート・モルタル、ベニヤ、合板、金属他の場合は、必ず下地別のシーラーを塗布してください。
シーラーは壁紙と下地の間に皮膜を形成し下地からのアクによる壁紙の変色を防止します。
- ・ケイカル板・粉ふき下地・ペンキ下地・パーテーション等の接着性の悪い下地は、必ず下地別のシーラーを塗布してください。
シーラーは下地を補強し、壁紙のハガレを防ぎます。

2 接着剤

- ・固めの糊を使用し塗布量の目安を130～150g/m²とし、付けだめはしないでください。
- ・フリース専用糊での施工を推奨しております。

3 オープンタイム

- ・裏打紙にフリースを使用しておりますので、糊塗工後に製品の伸びが殆んどありません。
糊塗工後 5～15分程度で壁紙が軟らかくなりますので、速やかに施工を行ってください。

4 たたみじわ

- ・糊付け後は、大きくたたんでください。
- ・折れじわ・粒取れの原因となりますので、壁紙をきつくとたたんだり、湾曲部を強く押さえないようにしてください。
又、製品の上積みは避けてください。

5 はぎ合わせ

- ・天地マークは製品の裏面に入っています。
- ・方向違いに貼り合わせないように、ご注意ください。

6 ジョイント

- ・両耳をスリット加工しておりますので、突きつけ施工してください。
- ・重ね裁ちをする場合は、常に鋭い刃先のカッターを使用し、下敷きを併用してください。

7 ローラーがけ

- ・ローラーがけを行うと表面がつぶれますので、ローラーがけは行わないでください。

8 補修

- ・骨の落脱が目立つ場合は、残材の骨を糊付けして、補修してください。

9 養生

- ・施工後は接着剤が安定するまで自然乾燥させてください。
- ・ハガレ、目隙等の原因になりますので、冷暖房等による急激な温度（環境）変化は避けてください。

10 連絡先

- ・商品の欠陥、その他お気づきの点がございましたら弊社までご一報ください。

富士工業株式会社 東京事務所
〒105-0014 東京都港区芝2-3-25 NIKIビル3F
TEL: 03-3452-4560 FAX: 03-3452-4561
E-Mail: info@accent-wall.com
URL: <http://www.ACCENT-WALL.com>
※緊急連絡先: 野村 / 090-2599-9097